

危険物新聞

第 501 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集 松 村 光 惟
発行人

大阪市西区新町1丁目5-7
四つ橋ビル
TEL (531) 9 7 1 7・5 9 1 0
定価 1部 60円

第 3 回 危険物取扱者試験

12月10日 府立大学で

(財消防試験研究センター大阪府支部では、平成7年度第3回危険物取扱者試験を12月10日(日)に、大阪府立大学で下記のとおり実施する予定である。

第 3 回危険物取扱者試験

試験日	・12月10日(日) 乙種4類 (午前・午後) 甲種・4類以外の乙種、丙種 (午後)
試験会場	大阪府立大学 (堺市)
願書受付日	11月16日、17日
願書受付場所	大阪府職員会館

予備講習会は、乙種4類・丙種について 羽曳野、茨木など府下8会場で

予備講習会は、乙種4類、丙種について大阪、堺、羽曳野、茨木など府下8会場で別掲のとおり(8頁参照)開催する。

なお、甲種予備講習については、今回は行なわれず、次回試験(第4回、2月上旬)に際して実施の予定。

土曜・日曜コースは電話予約を

土曜コースは(定員140名)、日曜コース(定員80名)については、定員が少ない関係上、電話予約(06-531-9717)による受付を行っている。

満席になり次第メ切るなので受講希望者は手続きを早い目に

乙種4類 直前対策研修会

乙種4類予備講習受講者を対象に、もぎテストと復習会を行なう直前対策研修会を下記のとおり実施する。

なお、申込は乙種4類各講習会場で受付の予定。

	日 時	会 場
Aコース	12月4日(月)17:30~20:30	大阪府商工会館
Bコース	12月7日(木)17:30~20:30	大阪府商工会館

コース1つ受講:2,000円、2つ受講:3,500円

次回の試験と予備講習について

平成7年度第4回試験と予備講習については、次のとおり予定している。

	試 験	講 習
時期	2月中旬	1月中、下旬
会場	大阪府大(堺市)	大阪、堺、吹田など
種類	甲種 乙種1~6類 丙種	甲種 乙種4類

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

特別資料


戦後の主な危険物災害年表(爆発・火災等) その1

年	月日	山 災 害 の 概 要	死者・不明 (名)	負傷者 (名)
昭和22年 (1947)	8月10日	鳥取県、津町のT油槽所ドラム缶保管所から出火し、多数のドラム缶と屋外貯蔵タンクが誘爆炎上した。		380
昭和24年 (1949)	6月24日	神奈川県、川崎市のS電工川崎工場で合成塔から高压ガスが漏洩し、何らかの火源により引火爆発し炎上した。	17	63
昭和24年 (1949)	9月7日	東京都、板橋区のT共同火薬倉庫が爆発し、約1500戸が被災し、多数の死者を出した。	35	
昭和27年 (1952)	7月26日	兵庫県、尼崎市のG回漕店尼崎倉庫に保管中のフィルムスクラップ(セルロイド)23ドラムが自然発火し、大音響と共に火炎を噴出し全焼した。		
昭和27年 (1952)	12月22日	愛知県、名古屋市のT合成化学名古屋工業所でカプロラクタム廃液が爆発。	22	162
昭和27年 (1952)	12月26日	愛知県、名古屋市のB社で石油缶入りマグネシウムが出火、注水をしたため爆発	9	29
昭和29年 (1954)	4月7日	大阪府、高槻市のD製薬(株)高槻工場で、ベンゾール回収蒸溜作業中、冷却水の送水が遅れ、未凝縮ベンゾール蒸気が室内に充満、室内スイッチを切ったときの火花により引火爆発した。		25
昭和29年 (1954)	9月1日	北海道、旭川市のA油脂工場で、油脂抽出缶が破損し、ヘキサンが漏れて何らかの火源により爆発。	7	1
昭和29年 (1954)	9月6日	大阪府、大阪市のT薬品工業大阪工場の原料倉庫に保管中の金属ナトリウム1,880kgが白煙を出して燃焼し、約12時間燃え続けた。		
昭和29年 (1954)	10月15日	三重県、四日市市のD石油製油所で、屋外貯蔵タンク(重油8,000ℓ)から出火し、原油、軽油タンクにも延焼し、黒煙は数百メートル立ち上り、構内のドラム缶は数十メートルの高さまで吹飛んだ。		10
昭和31年 (1956)	8月11日	岡山県、岡山市のN社危険物製造所でノルマルヘキサン回収装置が故障し、蒸留釜内で異常突沸現象が発生、可燃性蒸気が噴出、ボイラーの火源により引火爆発炎上した。	11	7
昭和31年 (1956)	10月9日	大阪府、大東市のD金属粉工業(株)、アルミニウム粉末工場でアルミ箔の屑をアルミ粉に粉砕作業中、何らかの火源により爆発燃上し、同工場及び、作業場を全焼した。	3	1
昭和31年 (1956)	11月15日	東京都、Kペイント東京工場シンナー詰替場で小缶に小分け作業中、静電気の火花(推定)により引火、さらに槽よりシンナーが流出したため、作業場は一瞬に火の海となり炎上した。	6	
昭和33年 (1958)	7月15日	東京都、太田区のS製薬(株)の作業室で突然大音響とともに爆発出火し、工場及び附属住宅の大半を破壊若しくは全半焼した。爆発したのは6ニトロマンニットと推定された。	13	22

年	月 日	災 害 の 概 要	死者・不明 (名)	負傷者 (名)
昭和34年 (1959)	7月11日	山口県、宇部市のK発酵合成工場で、水素ガス精製装置が爆発し、消火作業中に二次爆発が発生。	11	44
昭和36年 (1961)	8月9日	熊本県、水俣市のS窒素肥料水俣工場で、塩化ビニル重合槽が誤操作により爆発。	4	12
昭和37年 (1962)	8月13日	鹿児島県、鹿児島市のN社油槽所でタンクローリーにガソリンを充填中、現場を離れたため、ガソリンが溢流、何らかの火源より引火炎上した。	2	1
昭和37年 (1962)	11月18日	神奈川県、川崎市の京浜運河でガソリンを満載したタンカー「第一宗像丸」がノルウェーのタンカーと衝突、ガソリンが流出して海面火災。	41	
昭和38年 (1963)	3月9日	大阪府、大阪市のA社ガソリンスタンドでタンクローリーから地下タンクへガソリンを荷おろし中、立会い監視を怠ったため約1,000ℓのガソリンが溢流下水に流れ込み1km下流で引火爆発した。		4
昭和38年 (1963)	9月25日	兵庫県、神戸市長田区のDゴム工業所作業場で接着剤(ゴムノリ)に引火炎上し、さらに同棟内にあったボイラーの重油にも着火、火はまたたく間に燃えひろがり、作業員が逃げ場を失った。	17	7
昭和39年 (1964)	6月11日	神奈川県、川崎市のS電工川崎工場で、一連の製造装置(製造所)のうち粗プロピレンオキサイド中間タンク2基が爆発、その衝撃で他の中間タンク2基も横転して引火炎上し、約1時間後に爆発した。	16	117
昭和39年 (1964)	6月16日	新潟県、新潟地震により、S石油製油所の屋外タンクから出火した油火災は林立するタンク群及び製油施設に延焼し、さらに配管や防油堤の破壊により流出した油は河面に拡がり、民家を類焼、15日間燃え続けた。	13	300
昭和39年 (1964)	7月14日	東京都、品川区のT組危険物営業倉庫で、野積保管中の硝化綿が発火、油脂類、過酸化メチルエチルケトンが炎上した。出火1時間後の火勢が下火になった頃、突然大爆発が起り、消防隊員等19名が死亡した。	19	114
昭和43年 (1968)	10月21日	大阪府、大阪市のO社、香料製造装置(一般取扱所)の反応釜附近より出火し、溶剤計量槽の溶剤や仕込み中のマグネシウムに引火し、一瞬のうちに作業場は火の海となり炎上拡大した。	2	1
昭和43年 (1968)	9月30日	東京都、江戸川区のB社ゴム加工工場で、接着剤のシンナーが引火爆発。	6	4
昭和44年 (1969)	1月27日	愛知県、名古屋市のT社アクリル酸合成工場(製造所)から出火、消火活動中の作業員、消防隊員、近隣工場の自衛消防隊員ら百数十名がニッケルカーボニルで中毒症状を呈した。		150~160
昭和44年 (1969)	4月25日	福岡県、久留米市のNゴム(株)、1階ゴム張付作業場で古タイヤにゴム揮発油をスプレーで吹きつけ作業中に引火、爆発的に燃焼したため、2階作業場で作業中の女子従業員が逃げ場を失い焼死した。	11	7
昭和45年 (1970)	8月20日	千葉県、市原市のM石油化学で、ポリプロピレン設備のメタノールタンクが爆発。	3	4

年	月日	災害の概要	死者・不明 (名)	負傷者 (名)
昭和48年 (1973)	1月20日	大阪府、大阪市のTペイント大阪工場の一般取扱所(接着剤製造)で反応釜内の異常反応によりメタノールその他の蒸気が工場内に噴出し、何らかの火源により引火爆発した。		101
昭和48年 (1973)	10月8日	千葉県、市原市のT石油化学五井工場で、ポリプロピレン製造装置が爆発炎上した。	4	11
昭和48年 (1973)	10月28日	新潟県、S化学の塩化ビニール製造プラントで装置の清掃作業中、操作ミスによりガス爆発。	1	23
昭和49年 (1974)	11月9日	東京都、東京湾中の瀬航路の北端で、原油・LPG混載船「第10雄洋丸」が貨物船と衝突し両船とも炎上した	33	8
昭和49年 (1974)	12月18日	岡山県、倉敷市のM石油水島製油所の重油タンク底板が約10mにわたり亀裂し、重油約43,000klが流出、うち7,500~9,500klが海に流れ、瀬戸内海東部一帯を汚染した。		
昭和50年 (1975)	1月16日	福井県、福井市の都市ガス工場で、タンクローリーから屋外タンクにナフサを荷卸し中、タンクローリー後部コックの閉め忘れによりナフサが流出、何らかの火源により引火、タンクローリーが全焼した。		
昭和50年 (1975)	2月16日	三重県、四日市市のD石油製油所で22,000klの灯油タンクから出火し、貯蔵中の灯油約10,000klが黒煙を1,000m近く噴き上げ、約4時間30分に亘って炎上した。		
昭和50年 (1975)	8月30日	愛媛県、東予市のN社、廃油処理工場(製造所)で受け入れた廃油を精製作業中、油清浄機室で大音響と共に爆発が起り、半径約300メートルの範囲まで被害が及んだ。	8	7
昭和51年 (1976)	12月1日	愛知県、名古屋市市のM油槽所内で、J P 4を積載した空車のタンクローリーをJ P 4で洗浄中、突然爆発が起り、作業員3名が火傷して吹飛ばされ、うち1名が死亡、原因は静電気の放電火花と推定。	1	2
昭和53年 (1978)	9月15日	大阪府、枚方市のY化学工場の製造所で5トン反応釜にアクリル酸エステル、工業用アルコール及び過酸化ベンゾイルを仕込み、加熱、攪拌作業中、異常反応により爆発炎上した。	2	32

(次号へ続く)




HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪府枚方市沼津田3-5 TEL. (0720)56-1201代
東京本社 〒1105 東京都港区芝大門2丁目6-7 TEL. (03)3434-4841

原点はロスフリーベンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢が
そこに
ある。

我が社の保安対策

“EPとNEが原点の取組”

〈門真市〉 松下電工(株)本社工場

1. はじめに

松下電工株は全従業員20,000人、A&I・『快適を科学します』を社会に約束した住まいの総合メーカーとして貢献している会社です。

全国各地に工場や営業所があり、最近では世界の国々とも事業を共に進めております。国内の各地には15工場(300人~5,000人/工場)で生産活動を行っており、総合安全活動も中央方針に基づいて安全活動を展開しています。

総合安全委員会組織は中央組織と各工場、事業部単位の部安全委員会組織がありますが、更に商品部単位で委員会活動を活発に推進している部署もあります。併せて、工場安全診断を中央との交流機会として1回以上/年実施されます。この内容は活動計画の進捗状況確認や、前回指摘の改善確認、問題点の検討となっています。

松下電工株の安全の基本的な考え方は「EPとNE」です。EP=エラーブーフのことで、人がミス侵しても機械や設備で安全を確保出来る考え方。NE=ノーエラーのことで、人が行動的にミスや不安全行動を起こさない、起こさせない考え方。

全員がこの基本的な考え方を立場、持ち場で発揮し「EPとNE」と車の両輪と位置づけた、安全活動に取り組んでいます。

EPに関しては、機械設計~完成後の安全アセスメント、NEに関しては安全動作基準票を重要視した取組になっており、社内はもとより地域社会にご迷惑を掛ける事故や災

害を発生させない為に、危険は常に存在している、この危機感を再認識しながら、全員が安全活動を推進しています。

2. 本社工場の紹介

会社の中央である本社工場は、5,550人の従業員と関連会社、取引業者の人を加えると8,000人の集団が活動している工場場で、特に危険物を多量に取り扱う積層板の生産工場があります。主に第4類を生産材料に使用し、生産設備は危険物対象の設備を、オペレーターが24時間稼働の交替勤務で操業に励んでおり、併せて安全なサークル活動を展開しております。



守口消防署との合同消火訓練(1995年春の予防週間に実施)

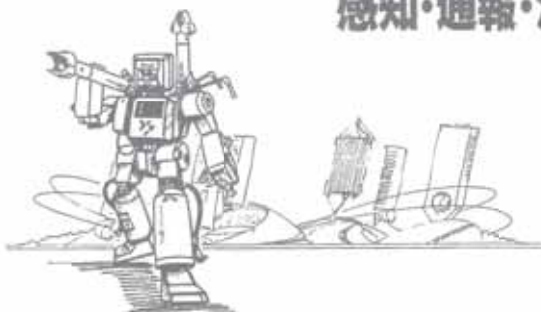
3. 本社工場の安全活動

中央の主な活動としては、①会社幹部による巡視 ②専門分科会による巡視 ③産業医による巡視 ④火災保険会社による巡視 ⑤有資格者による環境測定 ⑥新設備更新設備導入時の設計~完成後のアセスメント ⑦防災設備法的点検 ⑧溶接溶断作業の保安届けと内容確認 ⑨自衛消防隊訓練 ⑩管轄消防署との防災連携訓練 ⑪設備新設、更新、移動、撤去の消防署への諸届け ⑫管轄消防署による講習会、等

全社安全活動組織と共に、技術開発研究、品質保証、照



防火設備は、まもなく防火設備の
メンテナンスの計画を完了し、
緊急対応の準備が完了しました。
また、防火設備のメンテナンス
作業は、安全に完了しました。
また、防火設備のメンテナンス
作業は、安全に完了しました。
また、防火設備のメンテナンス
作業は、安全に完了しました。



かんじる しらせる けす
感知・通報・消火

・yuriko...

ヤマトスロテック株式会社

本社 〒537 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL (06)976-0701代 東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL (03)3446-7151代

明事業、住設事業、電子材料事業、配管機材事業、等の部門単位毎に、安全委員会組織や年間活動計画書を中央の方針に基づき作成し、その活動計画に対するフォローを具体的にを行っています。

4. 多量危険物を扱う積層板生産本社工場の安全活動

積層板生産工場は電子材料事業の管理組織となっており、具体的な活動は電子材料の安全委員会組織で運営されますが、活動は自主的に各商品部門で行うことになっています。その活動の中でも「EP と NE」の視点で危険物を重視した展開内容は下記の通りです。

- ① 危険物設備の新設、更新、撤去アセスメントの実施 (設計、工事、完成後)
- ② 危険物設備と日常活動 (巡視、調整、5 S)
- ③ 点検とメンテナンス (日常点検、月例点検、年次点検と点検後のフォロー)
- ④ 取扱教育と基準票の見直し及び「OJT も含む」(安全動作基準票)改善都度
- ⑤ 不慮の事故に対処する体制確認と訓練 (各員 2 回以上の参加/年)
- ⑥ 危険物取扱者の保安講習受講「外部講習」(70%/有資格者)
- ⑦ 各安全サークル会議の実施 (各員 1 回以上出席/月)
- ⑧ 商品部責任者「職長、以上の役職者」による防災会議の実施 (1 回/月)
- ⑨ 部、行動分科による 5 S 巡視評価の対応 (1 回/月)
- ⑩ 部、幹部安全巡視及び指摘内容検討、改善 (1 回/月)
- ⑪ 中央幹部、中央専門安全巡視及び指摘内容検討、改善 (2~4 回/年)
- ⑫ その他
 - 1) 社外に於ける安全衛生行事の参加
 - 2) 社内外の安全衛生活動交流会を実施
 - 3) 部、安全衛生委員会会議や行事の参加、等

秋の全国火災予防運動

今年も11月9日から1週間、全国秋の火災予防運動が行なわれる。この運動は、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、死傷事故や損失を防ぐことを目的としている。

＝全国統一標語＝

「災害に 備えて日頃の 火の用心」

LIFE LINE STATION

緊急用飲料水・電気・ガス供給機

防災ライフラインステーション



いざというとき

- 飲料水
- 電気
- 熱源

の確保ができます。

矢ヶ崎機工株式会社 ☎06-657-3791

5. おわりに

安全を担当する立場の関係上、基本的な判断基準は、法的基準や社内の基準規程を合しながら「EP と NE」を両輪とした考え方で知恵を出し合うことです。

実施しようとする職場情報を早く掌握しその内容を良く見抜いて、より安全な対策を練る。人は間違いを起こす要素もっていることをお互いが認めあい衆知で知恵を絞りより安全な行動にしないでほしい。

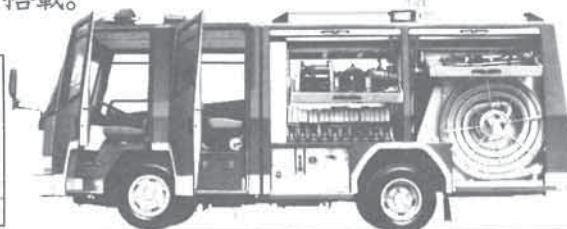
これには、人間関係が更に重要であり、意見交換の出来る雰囲気や活動の支えとなります、この様に良い雰囲気の中でこそ「EP と NE」の思考に更に磨きが掛り、無事故無災害目標の達成が可能で、全社員が安全活動には休暇がないことを肝に命じながら頑張っています。

普通消防ポンプ車

MX-1

消防そして救助。災害にも即応する資機材を搭載。

- MX-1専用キャブ、ハイルーフ&ワイドウィンド
- オートマチックトランスミッション
- フルパワーP.T.O.
- デジタル表示式集中コントロールパネル
- 動力式ホースレイヤー
- 吸着、各種放水器具、資機材をコンパクトに収納



MORITA

森田ポンプ株式会社

本社 / 〒544 大阪市生野区小路東5丁目5番20号
TEL (06) 756-0110 FAX (06) 754-3461
東京・大阪・仙台・名古屋・福岡・富山・松山

保安講習について

危険物取扱者保安講習は消防法第13条の23で定められた義務講習である。

危険物製造所等(危険物施設)で危険物の取り扱いに従事する危険物取扱者(保安監督者も当然、従事しているものと見なされる)は、定められた期間内にこの講習を受講しなければならない。

また、上記以外の危険物取扱者でも受講することができ、他府県で交付された免状所持者も、大阪府下の会場で受講することができる。

受講期限は、原則として資格を取得した日、または保安講習を受講した日から3年以内に受講しなければならない。受講義務者が期限内に受講しないときは、免状の返納が命ぜられることがある。

受講手続の要領について

- ① 受講予約の申込書(指定の往復ハガキ:府下各消防本部、予防課で配付)に希望する会場(第1希望から第4希望まで)を記入して、郵送して下さい。ただし、1事業所において、受講者が複数のときは、(受講日が異なる場合でも)封筒で一括して、送付下さい。そのときは、返信用角封筒(切手貼付)同封のこと。
- ② 後日、受講申請日、申請場所、講習日等を指定して、返信ハガキで、本人へ通知します。
(通知はおおむね受講日の2~3週間位前になりますのでご了承ください)
- ③ 指定された申請日に、申請場所で、申請書(返信ハガキ裏面)に受講手数料(4,700円の大阪府証紙)を貼付して、申請して下さい。(証紙は申請所で発売)
申請書が受理されると、受講券及びテキストを交付します。
- ④ 申請書受付後は、いかなる理由があっても手数料、提出書類は一切返却いたしません。
- ⑤ なお、受講時間は各会場とも3時間です。
(開講時間は、講習会場により若干異なります。)
- ⑥ 講習当日、受講券、免状及びテキストを持参し、所定の講習(3時間)を受講すると、免状に受講済印を押し交付します。

保安講習予定表(10月~12月)

◇その他・一般(15会場)

回数	開催日時(予定)			会場	
32	10月6日	金	午前	大阪府商工会館	大阪市
33	10月6日	金	午後	大阪府商工会館	大阪市
34	10月11日	水	午前	茨木市商工会議所	茨木市
37	10月13日	金	午後	大東市消防本部	大東市
43	10月23日	月	午後	守口門真商工会館	門真市
45	10月25日	水	午前	北河内府民センター	枚方市
46	10月25日	水	午後	北河内府民センター	枚方市
47	10月26日	木	午後	八尾市消防本部	八尾市
49	10月30日	月	午前	高槻市消防本部	高槻市
50	10月30日	月	午後	高槻市消防本部	高槻市
51	11月1日	水	午後	吹田メシアター	吹田市
52	11月2日	木	午後	大阪府商工会館	大阪市
53	11月13日	月	午後	大阪府商工会館	大阪市
54	12月4日	月	午後	大阪府商工会館	大阪市
55	12月6日	水	午後	大阪府商工会館	大阪市

◇大阪北港コンビナート関係(2会場)

回数	開催日時(予定)			会場	
42	10月20日	金	午後	此花会館	大阪市
48	10月27日	金	午後	此花会館	大阪市

◇給油取扱所関係(2会場)

回数	開催日時(予定)			会場	
35	10月11日	水	午後	茨木市商工会議所	茨木市
39	10月17日	火	午後	大阪府商工会館	大阪市

◇タンクローリー関係(2会場)

回数	開催日時(予定)			会場	
38	10月16日	月	夜	*臨海センタービル	堺市
44	10月24日	火	夜	*臨海センタービル	堺市

(注)1.講習時間は3時間です。

(開講時間は講習会場によって若干異なります。)

2.会場欄中の*印の会場は駐車可。

<8年2月期の予定>

- ・大阪市内 4会場
(うち、化学工場関係 1会場)
- ・堺、茨木、東大阪 各1会場

危険物取扱者予備講習のご案内

平成7年度第3回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場	
乙種4類	1期	11月21日(火)、11月22日(水)	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)	
	2期	11月22日(水)、11月27日(月)	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町ヨリ約5分)	
	3期	11月20日(月)、11月21日(火)	堺市民会館 (南海高野線堺東ヨリ8分)	
	4期	11月27日(月)、11月28日(火)	柏原・羽曳野・藤井寺消防本部 (近鉄南大阪線古市駅ヨリ15分)	
	5期	11月29日(水)、11月30日(木)	茨木市商工会議所 (茨木駅ヨリ13分)	
	土曜コース	11月18日(土)、12月2日(土)	9時10分～16時	大阪府商工会館
	日曜コース	11月12日(日)、11月26日(日)、12月3日(日)	10時～16時30分	大阪科学技術センター
丙種	12月4日(月)	9時～16時	大阪府商工会館	

2. 受付場所と受付日時

- ①四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内にお願いします。
 ②各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受けできませんからご了承下さい。
 ③申込手続きは代理でも結構です。

受付場所		日時
豊中市消防本部内(阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会	11月7日(火) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内(JR・阪急・茨木より13分)	茨木市災害予防協会	11月7日(火) 午後1:30～4:00
柏原・羽曳野・藤井寺消防本部内(近鉄・古市駅より西へ15分)	柏・羽・藤火災予防協会	11月8日(水) 午後1:30～4:00
東大阪市西消防署内(近鉄・小坂駅より北へ6分)	東大阪市西防火協力会	11月9日(木) 午前10:00～11:30
守口消防署(地下鉄守口駅前)	守口消防署	11月9日(木) 午後1:30～4:00
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会	11月10日(金) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	11月10日(金) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階(地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	11月14日(火) 午前9:30～4:00 11月15日(水)

(注) 12:00～13:00までは昼食で受付事務を一時休みます。

3. 土曜・日曜コースの申込方法

土曜コース(定員140名)、日曜コース(定員80名)は電話(06-531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費

(会費には、各テキスト代を含みます。)テキスト不要の場合は、乙種2,000円減額。(テキストは平成7年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
乙種4類	11,000円	13,000円
乙種(土曜コース)	12,000円	14,000円
乙種(日曜コース)	16,000円	18,000円
丙種	5,000円	6,000円